

目 次

- 資料 1 全国学力・学習状況調査報告書
- 資料 2 特別支援教育士
- 資料 3 達人が伝授
- 資料 4 高度教職実践専攻（教職大学院）のカリキュラム
- 資料 5 コース別履修スケジュール
- 資料 6 管理運営組織図
- 資料 7 高度教職実践専攻（教職大学院）専任教員時間割
- 資料 8 要望書
- 資料 9 認証評価実施について

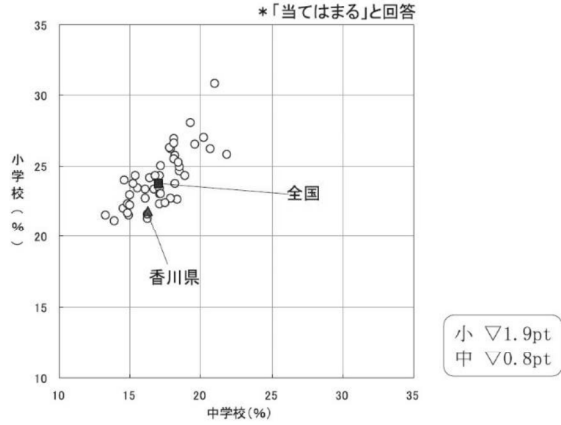
香川県教育センター「平成26年度 全国学力・学習状況調査 報告書」平成26年10月

資料1-1

【自尊意識】

失敗を恐れずに挑戦する

□5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

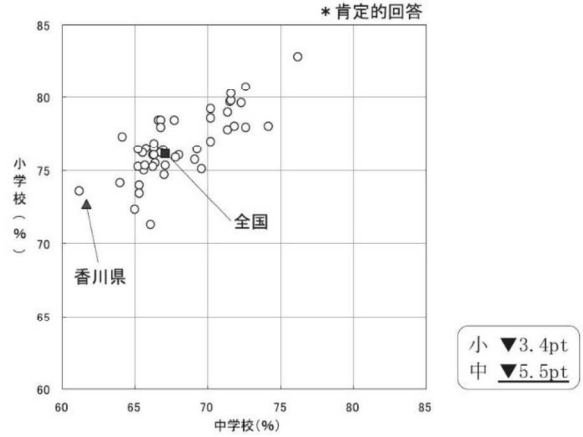


資料1-2

【自尊意識】

自分にはよいところがある

□6 自分には、よいところがあると思いますか

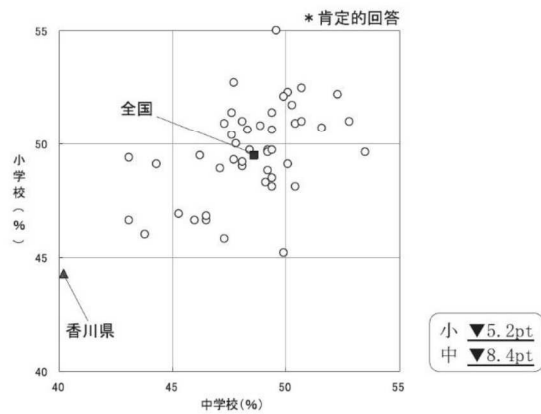


資料1-3

【学習状況《言語活動》】

友達の前での発表は得意

□7 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

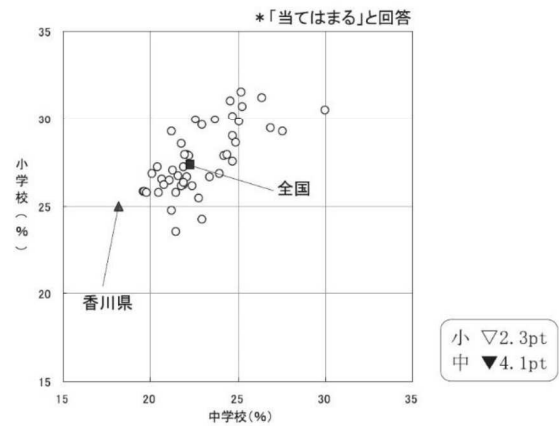


資料1-4

【学習状況《言語活動》】

友達にうまく伝える

□8 友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか

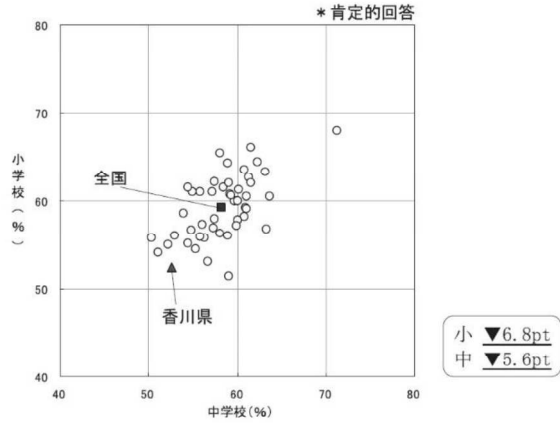


資料 1-5

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の勉強は好き

□50 国語の勉強は好きですか

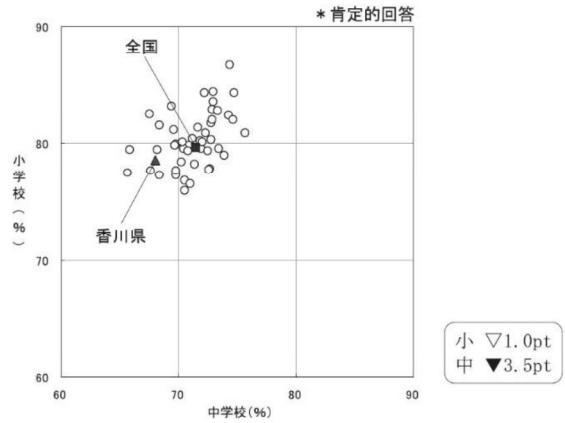


資料 1-6

【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の授業の内容はよく分かる

□64 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

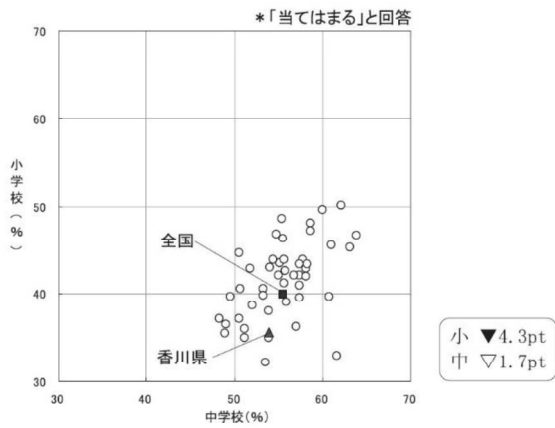


資料 1-7

【規範意識】

きまりを守っている

□34 学校の決まり(規則)を守っていますか

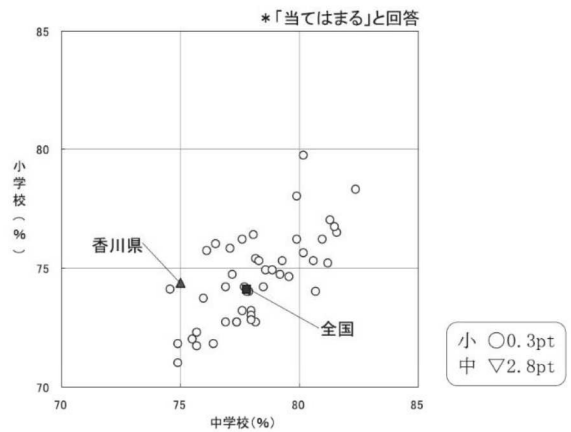


資料 1-8

【規範意識】

人の気持ちが分かる人間になりたい

□36 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか



特別支援教育士 (S.E.N.S) とは

学会連携資格「特別支援教育士 (Special Educational Needs Specialist=略称 S.E.N.S)」は、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会が認定する、心理と教育の二つの領域にかかわる資格です。

S.E.N.Sは、「LD・ADHD等のアセスメントおよび個別の指導計画の立案と実施ができる人材」です。したがって、学校内での行動・学習に起因して起こるいじめや不登校など心理的な問題にも学習面の問題にも対応できる力を備え、児童生徒や教師をトータルに支援できる心理と教育の専門資格といえます。

現在、4,000名を超えるS.E.N.Sの有資格者が、特別支援教育コーディネーターとして、通常の学級や通級指導教室等の専門性のある教員として、あるいは巡回相談員として様々な支援の場で活躍しています。

また、特別支援教育に関する啓発活動や周囲の人たちへの指導助言、地域における支援体制の構築と推進等社会的リーダーシップと専門性のある人材を、S.E.N.S-SVとして認定しています。

特別支援教育士資格認定協会について

本協会は、我が国におけるLD (学習障害) ・ADHD (注意欠陥多動性障害) 等の発達障害に関する教育を推進するために、学会連携資格[※]である「特別支援教育士」および「特別支援教育士スーパーバイザー」の養成や資格認定等を行い、LD等を有する児(者)に対する教育の質的向上と福祉の増進を図ることを目的として設立されました。



主な事業内容

- 特別支援教育士等に関する教育事業
- 特別支援教育士等に関する資格認定事業
- その他、特別支援教育に関連する事業

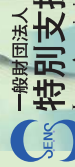
特別支援教育士

適切な支援を、
もともともっと子どもたちに。



一般財団法人
特別支援教育士資格認定協会
Japan Association of the Special Educational Needs Specialist

〒108-0074 東京都港区高輪 3-24-18 高輪エンパイアビル8F
TEL:03-6721-6860 <http://www.sens.or.jp>



一般財団法人
特別支援教育士資格認定協会
Japan Association of the Special Educational Needs Specialist

ごあいさつ

学会連携資格「特別支援教育士 (Special Educational Needs Specialist=略称「S.E.N.S.」)」は、本協会が認定するLD・ADHD等のアセスメントと指導の専門資格です。

S.E.N.S.の養成は、2001年から開始され、現在の有資格者は、S.E.N.S.: 3,881名、特別支援教育士スーパーバイザー (S.E.N.S-SV) : 359名、計4,240名となっています。また全国34ヶ所に支部があり、各地域の特別支援教育の中心として活動しています。(2014年4月1日現在)

S.E.N.S.は特別支援教育のプロをを目指しています。S.E.N.S.の資格を持っている先生方は、クラスの中で一人ひとりの子どもが「どこでつまづいているのか」「どう教育するのか」の視点をしっかりと持って関わることができている特別支援教育のプロを目指しています。

またS.E.N.S-SVの先生方は、LD・ADHD等のアセスメントや個別の指導計画の立案・実施に関して周囲の人たちに指導助言でき、その地域のリーダーとして十分な実践力を持つ人材、つまり、特別支援教育の「真のプロフェッショナル」として位置づけています。

特別な支援を必要とする全ての子どもが適切に支援を受けて成長していくことができるように、多くの方にS.E.N.S.というプロフェッショナルを目指していただきたいと思っています。



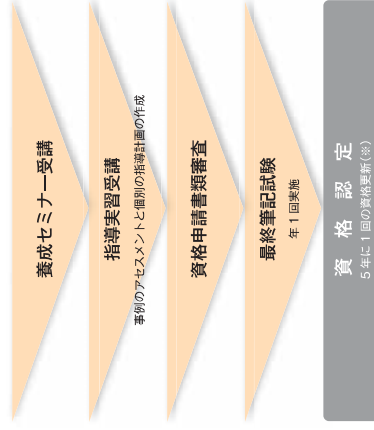
一般財団法人
特別支援教育士資格認定協会
理事長 竹田 契一

特別支援教育士 (S.E.N.S.) になるためには

特別支援教育士 (S.E.N.S.) の資格を取得するためには、以下の条件が求められます。

- ① 一般社団法人日本LD学会を主幹学会とする連携学会のいずれかの正会員であること
- ② LD・ADHD等の関連職種に所定の時間以上従事していること
- ③ 本協会が主催する養成セミナーを受講し、規定のポイントを取得すること

特別支援教育士 (S.E.N.S.) 資格取得までの流れ



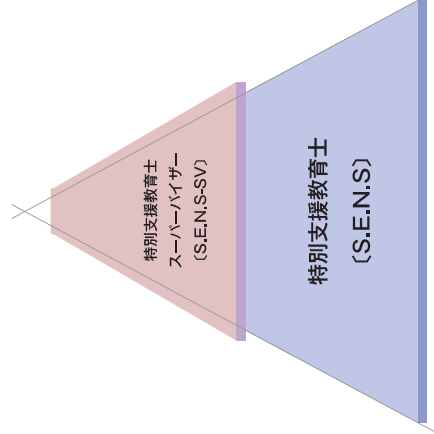
※S.E.N.S. 資格の有効期間は5年間です。S.E.N.S. 資格を更新するためには、資格更新期間に定める所定のポイントを取得する必要があります。

特別支援教育士 (S.E.N.S.) における 2 つの資格

特別支援教育士 (S.E.N.S.) の資格を取得して2年以上経過した人の中から、

- LD・ADHD等の研究・指導実践に優れている人
- 各地域でLD・ADHD等の教育・支援活動の中心となっている人

に対して、特別支援教育士スーパーバイザー (S.E.N.S-SV) の資格を授与しています。



お互いに連携し、質の高い適切な支援を提供していきます。

特別支援教育士 (S.E.N.S.) に求められているもの

特別支援教育士 (S.E.N.S.) には以下のような力が求められています。

- ① 支援を必要としている子どもに「気づく」ことができる
- ② 子どもニーズを正確に、客観的に把握することができる
- ③ 個別の指導計画を作成することができる
- ④ 個別の指導計画に基づき、子どもの特性に合わせて指導を実施することができる
- ⑤ 指導の経過を振り返り、指導の効果を客観的に測定することができる
- ⑥ 家族や担任教師など子どもの周囲の人たちへの支援をすることができる
- ⑦ 関係機関と適切に連携することができる
- ⑧ 支援における倫理について熟知している

これらの力を修得するために養成セミナーを受講して規定のポイントを取得しなければなりません。また、資格取得後も常に新しい知識を学び続けるために、資格更新のための研修を受けることが求められています。



「学級経営論」授業教材

達人が伝授！

すぐに役立つ学級経営のコツ



[岬の分教場に赴任した大石先生は子どもたちの個性輝く瞳を見て「この瞳をどうしてにごしてよいものか」と愛情を注ぎました。教師は絶えず、理想や夢そして希望を子どもたちに語り続けたいものです。(本文 p.4 より)]

平成 2 6 年 2 月
香川大学教育学部
香川県教育センター

目次

はじめに
目次

I 今、なぜ若手教員の学級経営なのか？

- 1 「香川の教育」を受け継ぐ 4
- 2 「学級経営」を考える 7
- 3 学級経営の3つの視点 14
- 4 高等学校におけるホームルーム経営の必要性 19

II さぬきの若手教員の悩みに答える！

本項の見方 22

〔小学校の事例〕

- 1 当番活動と係活動 24
- 2 教室環境 28
- 3 座席の決め方 30
- 4 褒め方・叱り方 32
- 5 授業参観 34
- 6 「いじめ」への対応 36

〔中学校の事例〕

- 1 教師としての姿 38
- 2 学級目標の決め方 40
- 3 清掃指導 42
- 4 毎日の「生活記録」 44
- 5 P T A個人懇談会の進め方 46
- 6 「いじめ」への対応 48

〔高等学校の事例〕

- 1 新学期のホームルーム運営 50
- 2 P T A学級懇談会・三者懇談 54
- 3 進路指導 58
- 4 文化祭への取組 62
- 5 保護者対応 66
- 6 不登校生徒への対応 68
- 7 「いじめ」への対応 72

【関連資料】 さぬきの若手教員の実態

- 1 調査の概要 76
- 2 若手教員の悩み
 - (1) 小・中・高等学校の実態 78
 - (2) 「授業準備」について 80
 - (3) 「特別な支援が必要な児童生徒への対応」について 82
 - (4) 「休日出勤や残業」について 83
- 3 学級経営に関する指導の難しさ
 - (1) 小・中・高等学校の実態 84
 - (2) 「小学校の指導の難しさ」について 87
 - (3) 「中学校の指導の難しさ」について 87
 - (4) 「高等学校の指導の難しさ」について 88
 - (5) その他 89
- 4 学級経営チェックリストの結果 90
- 5 学級経営への思い
 - (1) 初任者の「一番大切にしていること」 92
 - (2) 初任者研修指導教員から、初任者に「一番大切にしてほしいこと」 94
- 6 養護教諭・栄養教諭の意識調査
 - (1) 養護教諭のコメント 96
 - (2) 栄養教諭のコメント 98

引用・参考文献 99